

学校コード F104310100905

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

東北工業大学

工学部

環境応用化学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 東北工業大学

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局 教務学生課

職名・氏名 キョウムガクセイカチョウメグロコウジ
教務学生課長 目黒裕二

電話番号 022-305-3160

(夜間) 022-305-3300

e-mail gakumu@tohtech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

工学部

＜環境応用化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東北工業大学

(2) 大学名

東北工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒982-8577
宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒグチ タツオ) 樋口 龍雄 (平成28年4月)		
学長	(コンノ ヒロシ) 今野 弘 (平成28年4月)	(ワタナベ ヒロノリ) 渡邊 浩文 (令和3年4月)	今野弘学長の任期満了のため(3)
学部長	(コバヤシ マサキ) 小林 正樹 (令和2年4月)	(クドウ エイスケ) 工藤 栄亮 (令和3年4月)	小林正樹学部長の副学長就任に伴う学部長交代のため(3)
学科長等	(ヤマダ カズヒロ) 山田 一裕 (令和2年4月)	(サトウ ヨシユキ) 佐藤 善之 (令和4年4月)	任期満了に伴う学科長の交代のため(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 環境応用化学科 学士(工学)	工学関係	4年	65人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	260人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	65	-	65	-	65	-	65	-	0.92倍	-倍	0.85倍	-倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	397	-	323	-	353	-	294	-					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	374	-	309	-	337	-	281	-					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	294	-	277	-	294	-	254	-					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	75	-	58	-	57	-	49	-					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.15	-	0.89	-	0.88	-	0.75	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	74	-	57	-	55	-	50	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	68	-	62	-	64	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	58	-	53	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(9)	(-)	
4年次							-	-	-	-	55	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)	
計	-	-	-	-	74	-	125	-	175	-	222	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(12)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	76 人	2 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	2 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和3年度	129 人	8 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	6 人	— 人	就学意欲の低下(2名)、就職(1名)、授業料未納(1名) 学生個人の心身に関する事情(1名)、死亡(1名)
			令和3年度	2 人	— 人	就学意欲の低下(1名)学力不足(1名)
令和4年度	181 人	8 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	4 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(2名)、就学意欲の低下(2名)
			令和3年度	1 人	— 人	就学意欲の低下(1名)
			令和4年度	3 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(2名)、就学意欲の低下(1名)
令和5年度	222 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	— 人	— 人	
合計		18 人		18 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{76} = \boxed{2.63} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{129} = \boxed{6.2} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{181} = \boxed{4.41} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{222} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 環境応用化学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1前	2								1
	現代社会論	1前	2								1
	現代メディア論	2前	2								1
	環境問題とエコロジー	2前	2			1					
	市民と法	2後	2								1
	暮らしと心理学	2後	2								1
	科学思想史	2後	2								1
	東北文化史	2後	2								1
	市民と政治	3前	2								1
	産業社会と心理学	3前	2								1
	産業社会と倫理	3前	2								1
	情報社会の経済	3後	2								1
	日本国憲法	3後	2								1
	現代の哲学	4前	2								1
	ライフ・キャリアデザインⅠ	2前	2								1
	ライフ・キャリアデザインⅡ	3前	2								1
	職業指導(工業)	3前	2								2
	情報社会とモラル	3前	2								1
	情報と職業	3後	2								1
	工業概論	3前	2								1
フランスの文化と言葉	1後	2								1	
ドイツの文化と言葉	1後	2								1	
韓国の文化と言葉	1後	2								1	
中国の文化と言葉	1後	2								1	
言葉と表現	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	1後	1								1
	ビジネスマナー	3後	1								1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前	1								1
	英語ⅡB	2後	1								1
	英会話A	1前	1								1
	英会話B	1後	1								1
資格英語A	2前	1								1	
資格英語B	2後	1								1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前	1								6
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後	1								5
	スポーツ科学実習	2前	1								9
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後	2								
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	他大学等教養科目群	1後-4前	4								
小計(44科目)	-	6	67	0	0	0	0	0	0	0	36

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1前	2								1
	現代社会論	1前	2								1
	メディア文化史	1後	2								1
	グリーンテクノロジー	1後	1								1
	サステナビリティ入門	2前	2			1	1				2
	地球環境と諸問題	2後	2			1	1				
	市民と法	2後	2								1
	暮らしと心理学	2後	2								1
	科学思想史	3後	2								1
	東北文化史	1後	2								1
	産業社会と心理学	3前	2								1
	産業社会と倫理	3前	2								1
	情報社会の経済	3前	2								1
	日本国憲法	3前	2								1
	現代の哲学	4前	2								1
	キャリアデザインⅠ	1前	1								4
	キャリアデザインⅡ	2前	1								1
	キャリアデザインⅢ	3前	1								6
	人工知能総論	1前	1								2
	人工知能入門	1後	1								2
人工知能基礎	3前	2								1	
人工知能応用	3後	2								1	
職業指導(工業)	3前	2								2	
情報社会とモラル	3前	2								1	
情報と職業	3後	2								1	
工業概論	3前	2								1	
異文化理解	3後	2								1	
フランスの文化と言葉	3後	2								1	
韓国の文化と言葉	3後	2								1	
中国の文化と言葉	3後	2								1	
言葉と表現	スタディスキル	1前	1								1
	ビジネスマナー	3後	2								1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前	1								1
	英語ⅡB	2後	1								1
	英会話Ⅰ	1前	1								1
	英会話Ⅱ	1後	1								1
	英会話Ⅲ	2前	1								1
	英会話Ⅳ	2後	1								1
資格英語Ⅰ	2前	1								1	
資格英語Ⅱ	2後	1								1	
資格英語Ⅲ	3前	1								1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前	1								5
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後	1								5
	スポーツ科学実習	2前	1								4
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後	1								
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後	2								
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後	2								
	他大学等教養科目群	1後-4前	4								
小計(51科目)	-	8	73	0	0	0	0	0	0	0	46

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	数学基礎	1前	2								1
	物理基礎	1前	2								1
	生物基礎	1前	2				1				1
	情報リテラシー	1前	2						1		
	化学基礎	1前	2								1
	工業化学概論	1前	2						1		
	循環型社会形成論	1前		2		1					1
	微分積分学Ⅰ	1後	2			1					
	物理学Ⅰ	1後	2			1					
	科学リテラシー	1後	2			2			1		
	物理化学Ⅰ	1後	2			1	1				
	有機化学	1後	2			1					
	分析化学Ⅰ	1後	2			1					
	化学工学	1後	2			1					
	環境マネジメント	1後		2		1					
	地球環境とエネルギー	1後		2					1		
	環境応用化学セミナー	1後	1			5	3		1		
	微分積分学Ⅱ	2前		2		1					
	物理学Ⅱ	2前		2		1					1
	物理化学Ⅱ	2前		2							
	高分子化学	2前	2			1					
	無機化学	2前	2				1				
	分析化学Ⅱ	2前	2			1					
	分析化学実験	2前	2			1	1				
	地球環境科学基礎	2前		2			1				
	大気環境工学	2前		2		2					
	線形代数と微分方程式	2後		2		1					
	環境化学(※)	2後		2		1					
	表面化学(※)	2後		2		1					
	有機合成化学(※)	2後		2		1					
	熱力学(※)	2後		2		1					
	物理化学実験	2後	2			1	1				
	地域環境調査法及び同演習	2後		3		1	1				1
水環境工学	2後		2		1						
錯体化学(※)	3前		2			1					
計測工学(※)	3前		2		1						
固体・光化学(※)	3前		2		1	1					
触媒化学(※)	3前		2			1					
化学数学Ⅰ	3前	2			1						
応用化学実験	3前	2			1	1					
地域環境調査実習	3前		2		1	1					
土壌環境工学	3前		2			1					
生化学(※)	3後		2							1	
電気化学(※)	3後		2			1					
機能材料(※)	3後		2		1						
有機・無機材料(※)	3後		2			1				1	
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3			1						
緑地環境工学	3後		2			1					
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1			5	3					
CAD技術入門(※)	4前		2					1			
放射化学(※)	4前		2		1						
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前		2		1	1					
環境応用化学研修Ⅱ	4前		3		5	3					
環境応用化学研修Ⅲ	4後		3		5	3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	数学基礎	1前	2								2
	物理基礎	1前	2								2
	生物基礎	1前	2				1				0
	情報リテラシー	1前	2						1		
	化学基礎	1前	2								1
	工業化学概論	1前	2						1		
	循環型社会形成論	1前		2		1					1
	微分積分学Ⅰ	1後	2			1					
	物理学Ⅰ	1後	2			1					
	科学リテラシー	1後	2			2			1		
	物理化学Ⅰ	1後	2			1	1				
	有機化学	1後	2			1					
	分析化学Ⅰ	1後	2			1					
	化学工学	1後	2			1					
	環境マネジメント	1後		2		1					
	地球環境とエネルギー	1後		2					1		
	環境応用化学セミナー	1後	1			6	2		1		
	微分積分学Ⅱ	2前		2		1					
	物理学Ⅱ	2前		2		1					1
	物理化学Ⅱ	2前		2							
	高分子化学	2前	2			1					
	無機化学	2前	2			1					
	分析化学Ⅱ	2前	2			1					
	分析化学実験	2前	2			2	1				
	地球環境科学基礎	2前		2			1				
	大気環境工学	2前		2		2					
	線形代数と微分方程式	2後		2		1					
	環境化学(※)	2後		2		1					
	表面化学(※)	2後		2		1					
	有機合成化学(※)	2後		2		1					
	熱力学(※)	2後		2		1					
	物理化学実験	2後	2			2	1				
	地域環境調査法及び同演習	2後		3		1	1				1
水環境工学	2後		2		1						
錯体化学(※)	3前		2			1					
計測工学(※)	3前		2		1						
固体・光化学(※)	3前		2		1	1					
触媒化学(※)	3前		2			1					
化学数学Ⅰ	3前	2			1						
応用化学実験	3前	2			2	1					
地域環境調査実習	3前		2		1	1					
土壌環境工学	3前		2			1					
生化学(※)	3後		2							1	
電気化学(※)	3後		2			1					
機能材料(※)	3後		2		1						
有機・無機材料(※)	3後		2		1					1	
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3			1						
緑地環境工学	3後		2			1					
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1			6	2					
CAD技術入門(※)	4前		2					1			
放射化学(※)	4前		2		1						
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前		2		1	1					
環境応用化学研修Ⅱ	4前		3		6	2					
環境応用化学研修Ⅲ	4後		3		6	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後		2								
	他学科開講科目群	1後-4後		4								
	他大学開講科目群	1後-4後		4								
	小計(62科目)	-	51	76	0	5	3	0	1	0	9	
合計(106科目)	-	57	143	0	5	3	0	1	0	45		
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目必修6単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後		2								
	他学科開講科目群	1後-4後		4								
	他大学開講科目群	1後-4後		4								
	小計(62科目)	-	51	76	0	6	2	0	1	0	10	
合計(113科目)	-	59	149	0	6	2	0	1	0	56		
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目必修8単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1後		2							1
	現代社会論	1後		2							1
	現代メディア論	2後		2							1
	環境問題とエコロジー	2前		2		1	1				
	市民と法	2後		2							1
	暮らしと心理学	2後		2							1
	科学思想史	2後		2							1
	東北文化史	2前		2							1
	市民と政治	3前		2							1
	産業社会と心理学	3前		2							1
	産業社会と倫理	3前		2							1
	情報社会の経済	3後		2							1
	日本国憲法	3後		2							1
	現代の哲学	4前		2							1
	キャリアデザインⅠ	1前	1								1
	キャリアデザインⅡ	2前	1								1
	キャリアデザインⅢ	3前	1								1
	人工知能総論	1前	1								2
	人工知能入門	1後		1							2
	人工知能基礎	3前		2							1
人工知能応用	3後		2							1	
職業指導(工業)	3前		2							2	
情報社会とモラル	3前		2							1	
情報と職業	3後		2							1	
工業概論	3前		2							1	
フランスの文化と言葉	3後		2							1	
韓国の文化と言葉	3後		2							1	
中国の文化と言葉	3後		2							1	
言葉と表現	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	3後		1							1
	ビジネスマナー	3後		1							1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前		1							1
	英語ⅡB	2後		1							2
	英会話Ⅰ	1前		1							1
	英会話Ⅱ	1後		1							1
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	資格英語Ⅰ	2前		1							1
資格英語Ⅱ	2後		1							1	
資格英語Ⅲ	3前		1							1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前		1							4
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後		1							4
	スポーツ科学実習	2前		1							4
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後		2							
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2							
	他大学等教養科目群	1後-4前		4							
小計(51科目)	-	8	71	0	0	0	0	0	0	0	35

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域・文化・社会	表象文化論	1後		2							1
	現代社会論	1後		2							1
	現代メディア論	2後		2							1
	環境問題とエコロジー	2前		2		1	1				
	市民と法	2後		2							1
	暮らしと心理学	2後		2							1
	科学思想史	2後		2							1
	東北文化史	2前		2							1
	市民と政治	3前		2							1
	産業社会と心理学	3前		2							1
	産業社会と倫理	3前		2							1
	情報社会の経済	3後		2							1
	日本国憲法	3後		2							1
	現代の哲学	4前		2							1
	キャリアデザインⅠ	1前	1								1
	キャリアデザインⅡ	2前	1								1
	キャリアデザインⅢ	3前	1								1
	人工知能総論	1前	1								2
	人工知能入門	1後		1							2
	人工知能基礎	3前		2							1
人工知能応用	3後		2							1	
職業指導(工業)	3前		2							2	
情報社会とモラル	3前		2							1	
情報と職業	3後		2							1	
工業概論	3前		2							1	
フランスの文化と言葉	3後		2							1	
韓国の文化と言葉	3後		2							1	
中国の文化と言葉	3後		2							1	
言葉と表現	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	3後		1							1
	ビジネスマナー	3後		1							1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前		1							1
	英語ⅡB	2後		1							2
	英会話Ⅰ	1前		1							1
	英会話Ⅱ	1後		1							1
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	資格英語Ⅰ	2前		1							1
資格英語Ⅱ	2後		1							1	
資格英語Ⅲ	3前		1							1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前		1							4
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後		1							4
	スポーツ科学実習	2前		1							4
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後		2							
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2							
	他大学等教養科目群	1後-4前		4							
小計(51科目)	-	8	71	0	1	1	0	0	0	0	34

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	数学基礎	1前	2								2
	物理基礎	1前	2								2
	生物基礎	1前	2				1				0
	情報リテラシー	1前	2						1		
	化学基礎	1前	2								1
	工業化学概論	1前	2			6	2			1	
	循環型社会形成論	1前	2		1						1
	微積分学Ⅰ	1後	2		1						
	物理学Ⅰ	1後	2		1						
	科学リテラシー	1後	2		2				1		
	物理化学Ⅰ	1後	2		1						
	有機化学	1後	2		1						
	分析化学Ⅰ	1後	2		1						
	化学工学	1後	2		1						
	環境マネジメント	1後	2		1						
	地球環境とエネルギー	1後	2						1		
	環境応用化学セミナー	1後	1		6	2			1		
	微積分学Ⅱ	2前	2		1						
	物理学Ⅱ	2前	2		1						
	物理化学Ⅱ	2前	2								1
	高分子化学	2前	2		1						
	無機化学	2前	2		1						
	分析化学Ⅱ	2前	2		1						
	分析化学実験	2前	2		2	1					
	地球環境科学基礎	2前	2		1						
	大気環境工学	2前	2		2						
	線形代数と微分方程式	2後	2		1						
	環境化学(※)	2後	2		1						
	表面化学(※)	2後	2		1						
	有機合成化学(※)	2後	2		1						
	熱力学(※)	2後	2		1						
	物理化学実験	2後	2		2	1					
	地域環境調査法及び同演習	2後	3		1	1					1
	水環境工学	2後	2		1						
	錯体化学(※)	3前	2		1						
	計測工学(※)	3前	2		1						
	固体・光化学(※)	3前	2		1	1					
	触媒化学(※)	3前	2		1						
	化学数学Ⅰ	3前	2		1						
	応用化学実験	3前	2		2	1					
地域環境調査実習	3前	2		1	1						
土壌環境工学	3前	2		1							
生化学(※)	3後	2								1	
電気化学(※)	3後	2		1							
機能材料(※)	3後	2		1							
有機・無機材料(※)	3後	2		1						1	
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3		1							
緑地環境工学	3後	2			1						
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1		6	2						
CAD技術入門(※)	4前	2						1			
放射化学(※)	4前	2		1							
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前	2		1	1						
環境応用化学研修Ⅱ	4前	3		6	2						
環境応用化学研修Ⅲ	4後	3		6	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	数学基礎	1前	2								2
	物理基礎	1前	2								2
	生物基礎	1前	2				1				0
	情報リテラシー	1前	2							1	
	化学基礎	1前	2								1
	工業化学概論	1前	2			5	2			1	
	循環型社会形成論	1前	2		1						1
	微積分学Ⅰ	1後	2		1						
	物理学Ⅰ	1後	2		1						
	科学リテラシー	1後	2		2					1	
	物理化学Ⅰ	1後	2		1						
	有機化学	1後	2		1						
	分析化学Ⅰ	1後	2		1						
	化学工学	1後	2		1						
	環境マネジメント	1後	2		1						
	地球環境とエネルギー	1後	2							1	
	環境応用化学セミナー	1後	1		6	2				1	
	微積分学Ⅱ	2前	2		1						
	物理学Ⅱ	2前	2		1						
	物理化学Ⅱ	2前	2								1
	高分子化学	2前	2		1						
	無機化学	2前	2		1						
	分析化学Ⅱ	2前	2		1						
	分析化学実験	2前	2		2	1					
	地球環境科学基礎	2前	2		1						
	大気環境工学	2前	2		2						
	線形代数と微分方程式	2後	2		1						
	環境化学(※)	2後	2		1						
	表面化学(※)	2後	2		1						
	有機合成化学(※)	2後	2		1						
	熱力学(※)	2後	2		1						
	物理化学実験	2後	2		2	1					
	地域環境調査法及び同演習	2後	3		1	1					1
	水環境工学	2後	2		1						
	錯体化学(※)	3前	2		1						
	計測工学(※)	3前	2		1						
	固体・光化学(※)	3前	2		1	1					
	触媒化学(※)	3前	2		1						
	化学数学Ⅰ	3前	2		1						
	応用化学実験	3前	2		2	1					
地域環境調査実習	3前	2		1	1						
土壌環境工学	3前	2		1							
生化学(※)	3後	2								1	
電気化学(※)	3後	2		1							
機能材料(※)	3後	2		1							
有機・無機材料(※)	3後	2		1						1	
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3		1							
緑地環境工学	3後	2			1						
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1		6	2						
CAD技術入門(※)	4前	2							1		
放射化学(※)	4前	2		1							
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前	2		1	1						
環境応用化学研修Ⅱ	4前	3		6	2						
環境応用化学研修Ⅲ	4後	3		6	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後		2								
	他学科開講科目群	1後-4後		4								
	他大学開講科目群	1後-4後		4								
小計(62科目)		-	48	76	0	6	2	0	1	0	10	
合計(113科目)		-	56	147	0	6	2	0	1	0	45	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目必修8単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後		1								
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後		2								
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後		2								
	他学科開講科目群	1後-4後		4								
	他大学開講科目群	1後-4後		4								
小計(62科目)		-	48	76	0	6	2	0	1	0	10	
合計(113科目)		-	56	147	0	6	2	0	1	0	44	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目必修8単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
地域・文化・社会	表象文化論	1前		2							1
	現代社会論	1前		2							1
	現代メディア論	2前		2							1
	環境問題とエコロジー	2前		2		1					
	市民と法	2後		2							1
	暮らしと心理学	2後		2							1
	科学思想史	2後		2							1
	東北文化史	2後		2							1
	市民と政治	3前		2							1
	産業社会と心理学	3前		2							1
	産業社会と倫理	3前		2							1
	情報社会の経済	3後		2							1
	日本国憲法	3後		2							1
	現代の哲学	4前		2							1
	ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2前		2							1
ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	3前		2							1	
職業教育科目	職業指導(工業)	3前		2							2
	情報社会とモラル	3前		2							1
	情報と職業	3後		2							1
	工業概論	3前		2							1
	フランスの文化と言葉	1後		2							1
	ドイツの文化と言葉	1後		2							1
	韓国の文化と言葉	1後		2							1
	中国の文化と言葉	1後		2							1
言葉と表現	スタディスキルⅠ	1前	1								1
	スタディスキルⅡ	1後	1								1
	プレゼンテーション	1後		1							1
	ビジネスマナー	3後		1							1
	英語ⅠA	1前	1								2
	英語ⅠB	1後	1								2
	英語ⅡA	2前	1								2
	英語ⅡB	2後	1								2
	英会話A	1前		1							1
	英会話B	1後		1							1
資格英語A	2前		1							1	
資格英語B	2後		1							1	
心と体の健康	健康・運動科学実習Ⅰ	1前		1							6
	健康・運動科学実習Ⅱ	1後		1							5
	スポーツ科学実習	2前		1							9
学際	特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1							
	特別課外活動Ⅲ	1前-4後		2							
	特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2							
	他大学等教養科目群	1後-4前		4							
小計(44科目)		-	6	67	0	0	0	0	0	0	37

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	数学基礎	1前	2									2
	物理基礎	1前	2									2
	生物基礎	1前	2				1					0
	情報リテラシー	1前	2							1		
	化学基礎	1前	2									2
	工業化学概論	1前	2			4	3			1		
	循環型社会形成論	1前	2			1						1
	微分積分学Ⅰ	1後	2			1						
	物理学Ⅰ	1後	2			1						
	科学リテラシー	1後	2			2				1		
	物理化学Ⅰ	1後	2				1					
	有機化学	1後	2			1						
	分析化学Ⅰ	1後	2			1						
	化学工学	1後	2			1						
	環境マネジメント	1後	2			1						
	地球環境とエネルギー	1後	2							1		
	環境応用化学セミナー	1後	1			5	3			0		
	微分積分学Ⅱ	2前	2			1						
	物理学Ⅱ	2前	2			1						
	物理化学Ⅱ	2前	2									1
	高分子化学	2前	2			1						
	無機化学	2前	2				1					
	分析化学Ⅱ	2前	2			1						
	分析化学実験	2前	2			1	1					
	地球環境科学基礎	2前	2				1					
	大気環境工学	2前	2			2						
	線形代数と微分方程式	2後	2			1						
	環境化学(※)	2後	2			1						
	表面化学(※)	2後	2			1						
	有機合成化学(※)	2後	2			1						
	熱力学(※)	2後	2			1						
	物理化学実験	2後	2			1	1					
	地域環境調査法及び同演習	2後	3			1	1					1
	水環境工学	2後	2			1						
	錯体化学(※)	3前	2				1					
	計測工学(※)	3前	2			1						
固体・光化学(※)	3前	2			1	1						
触媒化学(※)	3前	2				1						
化学数学Ⅰ	3前	2			1							
応用化学実験	3前	2			1	1						
地域環境調査実習	3前	2			1	1						
土壌環境工学	3前	2				1						
生化学(※)	3後	2									1	
電気化学(※)	3後	2				1						
機能材料(※)	3後	2			1							
有機・無機材料(※)	3後	2				1					1	
化学数学Ⅱ及び同演習	3後	3			1							
緑地環境工学	3後	2				1						
環境応用化学研修Ⅰ	3後	1			5	3						
CAD技術入門(※)	4前	2							1			
放射化学(※)	4前	2			1							
資源循環とライフサイクルアセスメント	4前	2			1	1						
環境応用化学研修Ⅱ	4前	3			5	3						
環境応用化学研修Ⅲ	4後	3			5	3						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	環境応用化学特別課外活動Ⅰ	1前-4後		1							
	環境応用化学特別課外活動Ⅱ	1前-4後		1							
	環境応用化学特別課外活動Ⅲ	1前-4後		1							
	環境応用化学特別課外活動Ⅳ	1前-4後		2							
	環境応用化学特別課外活動Ⅴ	1前-4後		2							
	環境応用化学特別課外活動Ⅵ	1前-4後		2							
	他学科開講科目群	1後-4後		4							
	他大学開講科目群	1後-4後		4							
小計(62科目)	-	51	76	0	5	3	0	1	0	10	
合計(106科目)	-	57	143	0	5	3	0	1	0	47	
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目必修6単位を含む24単位以上、専門教育科目必修51単位を含む100単位以上、合計124単位以上修得のこと。 ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を必ず修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(1セメスター))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『数学基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『物理基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・兼任教員が就任を辞退したため、『生物基礎』の専任教員等の配置を、「准教授1名、兼任教員1名」から「准教授1名」に変更。
- ・クラス分けを行い、よりきめ細やかな指導を行うため、『化学基礎』の専任教員等の配置を、「兼任教員1名」から「兼任教員2名」に変更。
- ・授業形態を単独からオムニバス方式に変更したため、『工業化学概論』の専任教員等の配置を、「助教1名」から「教授4名、准教授3名、助教1名」に変更。
- ・教員の担当授業回数を一部変更したため、『環境応用化学セミナー』の専任教員等の配置から、「助教1名」を削除。

【令和3年度】

- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『表象文化論』の開講期を1年前期から1年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『現代社会論』の開講期を1年前期から1年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『現代メディア論』の開講期を2年前期から2年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『東北文化史』の開講期を2年後期から2年前期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『プレゼンテーション』の開講期を1年後期から3年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『フランスの文化と言葉』の開講期を1年後期から3年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『韓国の文化と言葉』の開講期を1年後期から3年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『中国の文化と言葉』の開講期を1年後期から3年後期に変更。
- ・キャリア教育の充実を図るため、『ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ』(2年前期・選択)、『ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ』(3年前期・選択)に代えて、『キャリアデザインⅠ』(1年前期・必修)、『キャリアデザインⅡ』(2年前期・必修)、『キャリアデザインⅢ』(3年前期・必修)を新設。
- ・AI関連教育の充実を図るため、『人工知能総論』(1年前期・必修)、『人工知能入門』(1年後期・選択)、『人工知能基礎』(3年前期・選択)、『人工知能応用』(3年後期・選択)を新設。
- ・英語教育の充実を図るため、『英会話A』(1年前期・選択)、『英会話B』(1年後期・選択)に代えて、『英会話Ⅰ』(1年前期・選択)、『英会話Ⅱ』(1年後期・選択)、『英会話Ⅲ』(2年前期・選択)、『英会話Ⅳ』(2年後期・選択)を新設。また、『資格英語A』(2年前期・選択)、『資格英語B』(2年後期・選択)に代えて、『資格英語Ⅰ』(2年前期・選択)、『資格英語Ⅱ』(2年後期・選択)、『資格英語Ⅲ』(3年前期・選択)を新設。
- ・これに伴い、『英語ⅡA』(2年前期)と『英語ⅡB』(2年後期)は必修科目から選択科目に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『環境問題とエコロジー』の専任教員等の配置を「准教授1名」から「教授1名および准教授1名」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英語ⅡA』の専任教員等の配置を、「兼任講師2名」から「兼任講師1名」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『健康・運動科学実習Ⅰ』の専任教員等の配置を「兼任教員1名および兼任講師5名」から「兼任教員2名および兼任講師2名」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『健康・運動科学実習Ⅱ』の専任教員等の配置を「兼任教員1名および兼任講師4名」から「兼任教員2名および兼任講師2名」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『スポーツ科学実習』の専任教員等の配置を「兼任教員1名および兼任講師8名」から「兼任教員2名および兼任講師2名」に変更。
- ・専任教員の昇任人事により、『工業化学概論』『物理化学Ⅰ』『環境応用化学セミナー』『無機化学』『応用化学実験』『電気化学』『有機・無機材料』『環境応用化学研修Ⅰ』『環境応用化学研修Ⅱ』『環境応用化学研修Ⅲ』の専任教員等の配置を変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『分析化学実験』の専任教員等の配置を「教授1名および准教授1名」から「教授2名および准教授1名」に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『物理化学実験』の専任教員等の配置を「教授1名および准教授1名」から「教授2名および准教授1名」に変更。

【令和4年度】

- ・教育課程編成上の都合により、『工業化学概論』の専任教員等の配置を「教授5名、准教授2名および助教1名」から、「教授6名、准教授2名および助教2名」に変更。

【令和5年度】

- ・グリーン教育の充実を図るため、『グリーンテクノロジー』(1年後期・必修)、『サステナビリティ入門』(2年前期・選択)、『地球環境と諸問題』(2年後期・選択)を新設。
- ・英語圏諸国の文化理解教育の拡充ため、『異文化理解』(3年後期・選択)を新設。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『表象文化論』の開講期を1年後期から1年前期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『現代社会論』の開講期を1年後期から1年前期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『現代メディア論』の科目名を『メディア文化史』に変更し、開講期を2年後期から1年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『科学思想史』の開講期を2年後期から3年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『東北文化史』の開講期を2年前期から1年後期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『情報社会の経済』の開講期を3年後期から3年前期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『日本国憲法』の開講期を3年後期から3年前期に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『スタディスキルⅠ』と『スタディスキルⅡ』を統合し『スタディスキル』を新設。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	75 科目	0 科目	106 科目	33 科目 [2]	80 科目 [5]	0 科目 [0]	113 科目 [7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						該当なし
3						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ	2	2年前期	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム改定のため。代替措置としては、当該科目に代わって、新たに『キャリアデザインⅠ～Ⅲ』を必修科目として新設した。
2	ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	2	3年前期	一般	選択	
3	ドイツの文化と言葉	2	1年後期	一般	選択	第2外国語科目の見直しのため。代替措置は無いが、2020年度入学者（改定前カリキュラム適用者）への開講は保障する。
4	環境問題とエコロジー	2	2年前期	一般	選択	2023年度の教養教育科目のカリキュラム改定のため。代替措置としては、当該科目に代わって、新たにグリーンテクノロジーなどに関する3科目を新設した。（改定前カリキュラム適用者への開講は保障する。）
5	市民と政治	2	3年前期	一般	選択	2023年度の教養教育科目のカリキュラム改定のため。代替措置は無いが、改定前カリキュラム適用者への開講は保障する。
6	プレゼンテーション	1	3年後期	一般	選択	2023年度の教養教育科目のカリキュラム改定のため。代替措置は無いが、改定前カリキュラム適用者への開講は保障する。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 『ライフ・キャリアデザイン論Ⅰ』および『ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ』の廃止については、後継科目として『キャリアデザインⅠ』『キャリアデザインⅡ』『キャリアデザインⅢ』を一般教養の必修科目として新たに配置したことで、これまで以上にキャリア教育の充実が図られている。
- ・ 『ドイツの文化と言葉』の廃止については、従来、第2外国語の中でも履修者が少ない科目であり、カリキュラムのスリム化や担当教員（非常勤講師）の確保の観点から廃止とした。
- ・ 『環境問題とエコロジー』の廃止については、後継科目として『グリーンテクノロジー』『サステナビリティ入門』『地球環境と諸問題』を新設したことで、これまで以上にGX関連教育の充実が図られている。
- ・ 『市民と政治』および『プレゼンテーション』については、教養教育科目の科目数やこれまでの履修者実績などを総合的に判断したうえで、令和5年度のカリキュラム改定の際に廃止とした。

上記のいずれについても、改定前のカリキュラム適用者への開講は保障するため、学生への影響は全く無いと判断している。なお、学生へは「学生便覧」や「シラバス」において周知している他、学内のポータルサイトには読替対応科目を掲載するなど、丁寧な説明と対応に努めている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{106} = \boxed{5.66}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：85,22㎡ (借用期間：20年間)					
	校 舎 敷 地	135,492 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	135,492 ㎡						
	運 動 場 用 地	59,037 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	59,037 ㎡						
	小 計	194,529 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	194,529 ㎡						
	そ の 他	86,844 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	86,844 ㎡						
	合 計	281,373 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	281,373 ㎡						
(2) 校 舎	専 用	77,338.48 ㎡ 77,056.87 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	77,338.48 ㎡ 77,056.87 ㎡	R4.9月に新棟（実験・教 育棟）が竣工したが、当 初計画の校舎面積から変 更が生じたため。（5）					
	(70,929.87 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(70,929.87 ㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	42 48 室	演 習 室	5 19 室	実 験 実 習 室	23 195 室	情 報 処 理 学 習 施 設	4 17 室 (補助職員 2 人)	語 学 学 習 施 設	0 室 (補助職員 - 人)	AC対象学部等の数値に修 正（2） 大学全体
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		工学部 環境応用化学科			9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での算出が 不能のため大学全体 図書の購入、除却等 を行ったことにより冊数等 が増減している。（5） 図書の購入、除却等 を行ったことにより冊数等 が増減している。（4） 図書の購入、除却等 を行ったことにより冊数等 が増減している。（3） 令和元年度に棚卸を行 い、図書資産の見直し等 を行ったことにより冊数 等が増減している。（2）			
	工学部 環境応用化学科	252,623 [56,292] 247,709 [56,198] 244,938 [56,011] 242,568 [55,814] 229,914 [50,576]	2,080 [1,034] 2,078 [1,028] 2,240 [1,043] 2,251 [1,043] 2,541 [901]	1,577 [1,570] 1,588 [1,581] 1,594 [1,587] 1,680 [1,670] 206 [198]	3,288 3,304 3,283 3,284 3,279	-	-				
		(252,623 [56,292]) (-247,529 [56,178]) (244,718 [55,961]) (242,188 [55,739]) (229,334 [50,476])	(2,080 [1,034]) (2,078 [1,028]) (-2,240 [1,043]) (2,251 [1,043]) (2,541 [901])	(1,577 [1,570]) (1,588 [1,581]) (1,594 [1,587]) (1,680 [1,670]) (206 [198])	(3,288) (-3,284) (3,263) (3,264) (3,259)	(-)	(-)				
	計	252,623 [56,292] 247,709 [56,198] 244,938 [56,011] 242,568 [55,814] 229,914 [50,576]	2,080 [1,034] 2,078 [1,028] 2,240 [1,043] 2,251 [1,043] 2,541 [901]	1,577 [1,570] 1,588 [1,581] 1,594 [1,587] 1,680 [1,670] 206 [198]	3,288 3,304 3,283 3,284 3,279	-	-				
(6) 図 書 館	面 積	2,977.09 ㎡		閱 覧 座 席 数	410 席	収 納 可 能 冊 数	260,000 冊	大学全体			
	面 積	3,576.71 ㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要							
(7) 体 育 館			野球場 2面		室内野球練習場						
			テニスコート 5面		フットサルコート 2面						
			武道場・剣道場		弓道場						
			アーチェリー場								
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度				
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	433 千 円	433 千 円	図 書 購 入 費	1,000 千 円	800 千 円	0 千 円				
	共 同 研 究 費 等	5,400 千 円	5,400 千 円	設 備 購 入 費	4,500 千 円	3,000 千 円	3,000 千 円				
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次 1,550 千 円	第 2 年 次 1,310 千 円	第 3 年 次 1,320 千 円	第 4 年 次 1,330 千 円	第 5 年 次 千 円	第 6 年 次 千 円				
	学 生 納 付 金 以 外 の 維持 方法 の 概 要		補助金収入、資金運用収入、手数料収入等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東北工業大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	6	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	5
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
工学部		年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度	宮城県仙台市太白区					
環境応用化学科	4	65	0	260	学士(工学)	0.92	-	0.85	-	令和2	令和2	八木山香澄町35番1号	令和2年度設置届出、定員変更(▲15)					
工学部												宮城県仙台市太白区						
電気電子工学科	4	120	0	480	学士(工学)	1.20	-	1.18	-	-	昭和39	八木山香澄町35番1号						
情報通信工学科	4	120	0	480	学士(工学)	1.19	-	1.16	-	-	昭和39	同上						
建築学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和41	同上	令和2年度学生募集停止					
都市環境学科	4	80	0	320	学士(工学)	0.97	-	0.96	-	-	昭和42	同上						
環境工学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募集停止					
建築学部												宮城県仙台市太白区						
建築学科	4	135	0	540	学士(建築学)	1.17	-	1.11	-	令和2	令和2	八木山香澄町35番1号	令和2年度設置届出、定員変更(15)					
ライフデザイン学部												宮城県仙台市太白区						
産業デザイン学科	4	80	0	320	学士(デザイン)	1.18	-	1.17	-	-	平成20	ニツ沢6番	令和2年度名称変更					
生活デザイン学科	4	80	0	320	学士(ライフデザイン)	1.17	-	1.17	-	-	平成20	同上	令和2年度名称変更					
経営コミュニケーション学科	4	80	0	320	学士(経営コミュニケーション)	1.19	-	1.17	-	-	平成20	同上						
大学全体	4	760	0	3,040	-	-	-	-	-	-	-							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名					
専任	准教授	佐野 哲也 (41) <令和2年4月> 博士(環境学)	生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクル技術 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー	専任	准教授	佐野 哲也 (42) <令和2年4月> 博士(環境学)	工業化学概論 生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクル技術 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー	専任	准教授	佐野 哲也 (43) <令和2年4月> 博士(環境学)	工業化学概論 生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクル技術 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー	専任	准教授	佐野 哲也 (44) <令和2年4月> 博士(環境学)	工業化学概論 生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクル技術 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ 環境問題とエコロジー	専任	准教授	佐野 哲也 (45) <令和2年4月> 博士(環境学)	生物基礎 環境応用化学セミナー 地球環境科学基礎 地域環境調査法及び同演習 土壌環境工学 地域環境調査実習 緑地環境工学 環境応用化学研修Ⅰ 資源循環とリサイクル技術 環境応用化学研修Ⅱ 環境応用化学研修Ⅲ サステナビリティ入門 地球環境と人間関係	
専任	助教	野澤 壽一 (54) <令和2年4月> 工学士	工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー 環境応用化学セミナー CAD技術入門	専任	助教	野澤 壽一 (55) <令和2年4月> 工学士	工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー CAD技術入門	専任	助教	野澤 壽一 (56) <令和2年4月> 工学士	工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー CAD技術入門	専任	助教	野澤 壽一 (57) <令和2年4月> 工学士	工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー CAD技術入門	専任	助教	野澤 壽一 (58) <令和2年4月> 工学士	工業化学概論 情報リテラシー 科学リテラシー 地球環境とエネルギー CAD技術入門	
兼任	教授	葛西 重信 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	物理化学Ⅱ	兼任	教授	葛西 重信 (60) <令和3年4月> 博士(工学)	物理化学Ⅱ	兼任	教授	葛西 重信 (61) <令和3年4月> 博士(工学)	物理化学Ⅱ	兼任	教授	葛西 重信 (62) <令和3年4月> 博士(工学)	物理化学Ⅱ	兼任	教授	葛西 重信 (63) <令和3年4月> 博士(工学)	物理化学Ⅱ	
兼任	講師	齋藤 章 (63) <令和2年4月> 理学士	数学基礎	兼任	講師	齋藤 章 (64) <令和2年4月> 理学士	化学基礎	兼任	講師	齋藤 章 (66) <令和2年4月> 理学士	物理基礎	兼任	講師	齋藤 章 (67) <令和2年4月> 理学士	物理基礎	兼任	講師	齋藤 章 (67) <令和2年4月> 理学士	物理基礎	
				兼任	講師	青山 純 (60) <令和2年4月> 教育学士	数学基礎	兼任	講師	青山 純 (61) <令和2年4月> 教育学士	数学基礎									
				兼任	講師	竹内 遼 (60) <令和2年4月> 理学士	数学基礎	兼任	講師	竹内 遼 (61) <令和2年4月> 理学士	数学基礎	兼任	講師	竹内 遼 (62) <令和2年4月> 理学士	数学基礎	兼任	講師	竹内 遼 (63) <令和2年4月> 理学士	数学基礎	
												兼任	講師	野崎 壽彦 (67) <令和4年4月> 工学士	数学基礎	兼任	講師	野崎 壽彦 (68) <令和4年4月> 工学士	数学基礎	
兼任	講師	志貴 一元 (63) <令和2年4月> 理学士、文学修士	物理基礎	兼任	講師	志貴 一元 (64) <令和2年4月> 理学士、文学修士	物理基礎	兼任	講師	志貴 一元 (65) <令和2年4月> 理学士、文学修士	物理基礎									
								兼任	講師	武田 元彦 (60) <令和3年4月> 教育学士	物理基礎									
												兼任	講師	今野 基 (67) <令和4年4月> 工学修士	物理基礎					
																	兼任	講師	佐々木 克敬 (60) <令和5年4月> 学術修士	物理基礎
兼任	講師	瀬谷 和夫 (61) <令和2年4月> 工学修士	化学基礎	兼任	講師	瀬谷 和夫 (62) <令和2年4月> 工学修士	化学基礎 物理基礎	兼任	講師	瀬谷 和夫 (63) <令和2年4月> 工学修士	化学基礎	兼任	講師	瀬谷 和夫 (64) <令和2年4月> 工学修士	化学基礎	兼任	講師	瀬谷 和夫 (65) <令和2年4月> 工学修士	化学基礎	
兼任	講師	劉 庭秀 (51) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)	循環型社会形成論	兼任	講師	劉 庭秀 (52) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)	循環型社会形成論	兼任	講師	劉 庭秀 (53) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)	循環型社会形成論	兼任	講師	劉 庭秀 (54) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)	循環型社会形成論	兼任	講師	劉 庭秀 (55) <令和2年4月> 博士(都市・地域計画)	循環型社会形成論	
兼任	講師	是常 知美 (42) <令和2年4月> 博士(環境学)	生物基礎																	
兼任	講師	藤岡 健司 (45) <令和3年4月> 修士(農学)	地域環境調査法及び同演習	兼任	講師	藤岡 健司 (46) <令和3年4月> 修士(農学)	地域環境調査法及び同演習	兼任	講師	藤岡 健司 (47) <令和2年4月> 修士(農学)	地域環境調査法及び同演習	兼任	講師	藤岡 健司 (48) <令和3年4月> 修士(農学)	地域環境調査法及び同演習	兼任	講師	藤岡 健司 (49) <令和2年4月> 修士(農学)	地域環境調査法及び同演習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	徐 麗 (49) <令和2年4月> 修士(教育学)	中国の文化と言葉												
				兼任	講師	佐藤 祐幸愛 (36) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)	中国の文化と言葉	兼任	講師	佐藤 祐幸愛 (38) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)	中国の文化と言葉	兼任	講師	佐藤 祐幸愛 (39) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)	中国の文化と言葉
兼任	准教授	高橋 秀太郎 (44) <令和2年4月> 博士(文学)	スタディスキルI スタディスキルII	兼任	准教授	高橋 秀太郎 (45) <令和2年4月> 博士(文学)	スタディスキルI スタディスキルII	兼任	准教授	高橋 秀太郎 (46) <令和2年4月> 博士(文学)	スタディスキルI スタディスキルII	兼任	准教授	高橋 秀太郎 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	スタディスキル
兼任	講師	伊藤 光弘 (58) <令和2年4月> 工学士	プレゼンテーション	兼任	講師	伊藤 光弘 (59) <令和2年4月> 工学士	プレゼンテーション	兼任	講師	伊藤 光弘 (60) <令和2年4月> 工学士	プレゼンテーション	兼任	講師	伊藤 光弘 (62) <令和2年4月> 工学士	プレゼンテーション
兼任	講師	浅野 純子 (59) <令和4年4月> 短期大学卒	ビジネスマナー	兼任	講師	浅野 純子 (60) <令和4年4月> 短期大学卒	ビジネスマナー	兼任	講師	浅野 純子 (61) <令和4年4月> 短期大学卒	ビジネスマナー	兼任	講師	浅野 純子 (63) <令和4年4月> 短期大学卒	ビジネスマナー
兼任	教授	高橋 哲徳 (52) <令和2年4月> 文学修士	英語I A 英語I B 資格英語A	兼任	教授	高橋 哲徳 (53) <令和2年4月> 文学修士	英語I A 英語I B 資格英語A	兼任	教授	高橋 哲徳 (54) <令和2年4月> 文学修士	英語I A 英語I B 資格英語A (資格英語I)	兼任	教授	高橋 哲徳 (56) <令和2年4月> 文学修士	英語I A 英語I B
兼任	准教授	鈴木 淳 (44) <令和2年4月> 博士(文学)	英語I A 英語I B 資格英語B	兼任	准教授	鈴木 淳 (45) <令和2年4月> 博士(文学)	英語I A 英語I B 資格英語B	兼任	准教授	鈴木 淳 (46) <令和2年4月> 博士(文学)	英語I A 英語I B 資格英語B (資格英語II) 資格英語III	兼任	准教授	鈴木 淳 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	英語I A 英語I B 資格英語B (資格英語II) 資格英語III
兼任	講師	徳永 慎也 (34) <令和3年4月> 修士(国際文化)	英語II A 英語II B	兼任	講師	徳永 慎也 (35) <令和3年4月> 修士(国際文化)	英語II A 英語II B	兼任	講師	徳永 慎也 (36) <令和3年4月> 修士(国際文化)	英語II A 英語II B	兼任	講師	徳永 慎也 (37) <令和3年4月> 修士(国際文化)	英語II A 英語II B
兼任	講師	青木 夏美 (28) <令和3年4月> 修士(英文学)	英語II A 英語II B	兼任	講師	青木 夏美 (29) <令和3年4月> 修士(英文学)	英語II A 英語II B								
								兼任	講師	星 かつり (44) <令和3年4月> 修士(文学)	英語II B	兼任	講師	星 かつり (45) <令和3年4月> 修士(文学)	英語II A 英語II B
兼任	講師	Craig MacDonald (46) <令和2年4月> 修士(教育学)	英会話A												
				兼任	講師	Diego Dardon (32) <令和2年4月> 修士(国際文化)	英会話A	兼任	講師	Diego Dardon (33) <令和2年4月> 修士(国際文化)	英会話A (英会話I)	兼任	講師	Diego Dardon (34) <令和2年4月> 修士(国際文化)	英会話A (英会話I) 英会話II
兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (47) <令和2年4月> 修士(応用言語学)	英会話B	兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (48) <令和2年4月> 修士(応用言語学)	英会話B	兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (49) <令和2年4月> 修士(応用言語学)	英会話B (英会話II) 英会話III 英会話IV	兼任	准教授	Simon Daniel Cooke (50) <令和2年4月> 修士(応用言語学)	英会話B (英会話II) 英会話IV
												兼任	講師	Darren Kinsman (53) <令和4年4月> 修士	英会話B (英会話II) 英会話IV
								兼任	教授	木戸 博 (56) <令和3年4月> 博士(工学)	人工知能総論 人工知能基礎	兼任	教授	木戸 博 (57) <令和3年4月> 博士(工学)	人工知能総論 人工知能基礎
								兼任	講師	丸山 友久 (60) <令和3年4月> 博士(工学)	人工知能総論 人工知能入門 人工知能応用				
				兼任	准教授	中山 美久 (45) <令和3年4月> 博士(情報科学)	人工知能入門 人工知能基礎	兼任	准教授	中山 美久 (46) <令和3年4月> 博士(情報科学)	人工知能入門 人工知能応用	兼任	准教授	中山 美久 (47) <令和3年4月> 博士(情報科学)	人工知能入門 人工知能応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	准教授	本田 春彦 (40) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	准教授	本田 春彦 (41) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	准教授	本田 春彦 (42) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	准教授	本田 春彦 (43) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	
兼任	講師	松原 悟 (61) <令和2年4月> 体育学士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ	兼任	講師	松原 悟 (62) <令和2年4月> 体育学士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ	兼任	講師	松原 悟 (63) <令和2年4月> 体育学士	健康・運動科学実習Ⅱ	兼任	講師	松原 悟 (64) <令和2年4月> 体育学士	健康・運動科学実習Ⅱ	
兼任	講師	河西 敏幸 (51) <令和3年4月> 博士(障害科学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	河西 敏幸 (52) <令和3年4月> 博士(障害科学)	スポーツ科学実習									
兼任	講師	池田 晃一 (57) <令和2年4月> 体育学修士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	講師	池田 晃一 (58) <令和2年4月> 体育学修士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	講師	池田 晃一 (59) <令和2年4月> 体育学修士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ	兼任	講師	池田 晃一 (60) <令和2年4月> 体育学修士	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ	
兼任	講師	伊藤 常久 (47) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ	兼任	講師	伊藤 常久 (47) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ						兼任	講師	伊藤 常久 (51) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ
兼任	講師	犬塚 剛 (51) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	犬塚 剛 (52) <令和3年4月> 修士(スポーツ科学)	スポーツ科学実習									
兼任	講師	門間 陽樹 (36) <令和2年4月> 博士(障害科学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	門間 陽樹 (36) <令和3年4月> 博士(障害科学)	スポーツ科学実習									
兼任	講師	森田(太田) 清美 (47) <令和3年4月> 修士(体育学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	森田(太田) 清美 (48) <令和3年4月> 修士(体育学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	森田(太田) 清美 (49) <令和3年4月> 修士(体育学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	森田(太田) 清美 (50) <令和3年4月> 修士(体育学)	スポーツ科学実習	
兼任	講師	黒澤 尚 (41) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	黒澤 尚 (42) <令和3年4月> 修士(スポーツ科学)	スポーツ科学実習						兼任	講師	黒澤 尚 (45) <令和3年4月> 修士(スポーツ科学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ
兼任	講師	高野 淳司 (46) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	教授	高野 淳司 (47) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	教授	高野 淳司 (48) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	兼任	教授	高野 淳司 (49) <令和2年4月> 博士(医学)	健康・運動科学実習Ⅰ 健康・運動科学実習Ⅱ スポーツ科学実習	
兼任	講師	伊勢 只義 (33) <令和2年4月> 博士(教育情報学)	健康・運動科学実習Ⅱ													
				兼任	講師	土井 豊 (64) <令和2年4月> 体育学修士	健康・運動科学実習Ⅱ	兼任	講師	土井 豊 (65) <令和2年4月> 体育学修士	スポーツ科学実習	兼任	講師	土井 豊 (66) <令和2年4月> 体育学修士	スポーツ科学実習	
兼任	講師	草野 修治 (49) <令和2年4月> 学士(体育学)	スポーツ科学実習	兼任	講師	草野 修治 (50) <令和3年4月> 学士(体育学)	スポーツ科学実習									
兼任	講師	金野 麻衣 (41) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	健康・運動科学実習Ⅰ	兼任	講師	金野 麻衣 (42) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	健康・運動科学実習Ⅰ	兼任	講師	金野 麻衣 (43) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	健康・運動科学実習Ⅰ	兼任	講師	金野 麻衣 (45) <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)	健康・運動科学実習Ⅱ	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、各年度については、**属可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・よりきめ細やかな指導を行うため、また教育課程編成上の都合により、『数学基礎』の担当教員を齋藤章兼任講師1名から青山純兼任講師と竹内透兼任講師の2名に変更。
- ・よりきめ細やかな指導を行うため、『物理基礎』の担当教員に瀨谷和夫兼任講師を追加。
- ・よりきめ細やかな指導を行うため、『化学基礎』の担当教員に齋藤章兼任講師を追加。
- ・是常知美兼任講師の就任辞退に伴い、『生物基礎』の担当教員から削除。『生物基礎』は佐野哲也専任准教授が単独で行うこととした。
- ・『工業化学概論』の授業形態を単独からオムニバス方式に変更したため、丸尾容子教授、山田一裕教授、佐藤善之教授、内田美穂教授、加藤善大准教授、多田美香准教授、佐野哲也准教授の担当科目に追加。
- ・『環境応用化学セミナー』の担当教員を一部変更したため、野澤壽一助教の担当科目から削除。
- ・『表象文化論』および『東北文化史』の担当教員である河内聡子兼任講師を専任教員（総合教員センター講師）として採用したため、兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『現代メディア論』の担当教員を、河内聡子兼任講師から大木葉子兼任准教授に変更。
- ・嶋崎順子兼任講師の就任辞退に伴い、『ドイツの文化と言葉』の担当教員を松崎裕人兼任講師に変更。
- ・徐麗兼任講師の就任辞退に伴い、『中国の文化と言葉』の担当教員を佐藤祐季兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英会話A』の担当教員をCraig MacDonald 兼任講師からDiego Dardon 兼任講師に変更。
- ・伊勢只義兼任講師の就任辞退に伴い、『健康・運動科学実習Ⅱ』の担当教員を土井豊兼任講師に変更。
- ・『健康・運動科学実習Ⅰ』『健康・運動科学実習Ⅱ』および『スポーツ科学実習』の担当教員である高野淳司兼任講師を専任教員（総合教員センター教授）として採用したため、兼任教授に変更。
- ・大塚剛兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・門間陽樹兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・黒澤尚兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。
- ・草野修治兼任講師の就任時期の記載に誤りがあったため、令和3年4月に修正。

【令和3年度】

- ・授業運営の変更等の都合により、『環境問題とエコロジー』の担当教員に山田一裕教授を追加。
- ・授業運営の変更等の都合により、『分析化学実験』の担当教員に佐藤善之教授を追加。
- ・授業運営の変更等の都合により、『物理化学実験』の担当教員に内田美穂教授を追加。
- ・専任教員の昇任に伴い、加藤善大准教授の職位を教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『物理基礎』の担当教員の一部を、瀨谷和夫兼任講師から、武田元彦兼任講師に変更。
- ・兼任教員の昇任に伴い、片山文雄兼任准教授の職位を兼任教授に変更。
- ・阿部登志子兼任講師の辞任に伴い、『ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ』『ライフ・キャリアデザイン論Ⅲ』の担当教員を手戸和喜兼任講師に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『キャリアデザインⅠ』『キャリアデザインⅡ』『キャリアデザインⅢ』を新設することとし、その担当教員として小寺良介兼任講師を採用。
- ・教育課程編成上の都合により、『英語ⅡA』の担当教員を徳永慎也兼任講師、青木愛美兼任講師の2名から、徳永慎也兼任講師1名に変更。（徳永慎也兼任講師は2クラス担当。）
- ・教育課程編成上の都合により、『英語ⅡB』の担当教員を徳永慎也兼任講師、青木愛美兼任講師の2名から、徳永慎也兼任講師、星かおり兼任講師の2名に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『英会話A』『英会話B』に代わり、『英会話Ⅰ』『英会話Ⅱ』『英会話Ⅲ』『英会話Ⅳ』を新設することとし、その担当教員として、Diego Dardon兼任講師、Simon Daniel Cooke兼任准教授を充てる。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『資格英語A』『資格英語B』に代わり、『資格英語Ⅰ』『資格英語Ⅱ』『資格英語Ⅲ』を新設することとし、その担当教員として、高橋哲徳兼任教授、鈴木淳兼准教授を充てる。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『人工知能総論』を新設することとし、その担当教員として戸博兼准教授、丸山次人兼任講師を充てる。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『人工知能入門』を新設することとし、その担当教員として中山英久兼任准教授、丸山次人兼任講師を充てる。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『人工知能基礎』を新設することとし、その担当教員として中山英久兼任准教授を充てる。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『人工知能応用』を新設することとし、その担当教員として丸山次人兼任講師を充てる。
- ・授業運営の変更等の都合により、『健康・運動科学実習Ⅰ』の担当教員から松原悟兼任講師、伊藤常久兼任講師を削除。
- ・授業運営の変更等の都合により、『健康・運動科学実習Ⅱ』の担当教員から土井豊兼任講師を削除。
- ・授業運営の変更等の都合により、『スポーツ科学実習』の担当教員から河西敬幸兼任講師、池田晃一兼任講師、大塚剛兼任講師、門間陽樹兼任講師、黒澤尚兼任講師、草野修治兼任講師を削除。

【令和4年度】

- ・任期満了に伴い、学科長を山田一裕教授から佐藤善之教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『数学基礎』の担当教員の一部を、青山純兼任講師から野崎壽彦兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『物理基礎』の担当教員を、志貴一元兼任講師、武田元彦兼任講師から齋藤章兼任講師・今野基兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『工業化学概論』の担当教員に、穴澤正宏教授を追加。
- ・井上久美兼任講師の就任辞退に伴い、『生化学』の担当教員を、宮田英成兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『キャリアデザインⅠ』の担当教員を、小寺良介兼任講師から丸山樹兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英会話B（英会話Ⅱ）』の担当教員を、Simon Daniel Cooke兼任准教授からDarren Kinsman兼任講師に変更。
- ・兼任教員の昇任に伴い、中山英久兼任准教授の職位を兼任教授に変更。
- ・兼任教員の昇任に伴い、高橋秀太郎兼任准教授の職位を兼任教授に変更。
- ・兼任教員の昇任に伴い、鈴木淳兼准教授の職位を兼任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『人工知能総論』の担当教員の一部を、丸山次人兼任講師から八巻俊輔兼任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『人工知能入門』の担当教員の一部を、丸山次人兼任講師から八巻俊輔兼任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『人工知能応用』の担当教員を、丸山次人兼任講師から中山英久兼任教授に変更。

【令和5年度】

- ・『工業化学概論』の授業形態をオムニバス形式から単独に変更したため、丸尾容子教授、山田一裕教授、穴澤正宏教授、佐藤善之教授、内田美穂教授、加藤善大教授、多田美香准教授、佐野哲也准教授の担当科目から削除。
- ・よりきめ細やかな指導を行うため、『応用化学実験』の担当教員に多田美香准教授を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、『物理基礎』の担当教員の一部を今野基兼任講師から佐々木克敬兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『表象文化論』の担当教員を河内聡子兼任講師から西原志保兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『東北文化史』の担当教員を河内聡子兼任講師から佐々木幸相兼任講師に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、『サステナビリティ入門』の担当教員に小祝慶紀兼任教授、川島和浩兼任教授を追加。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、佐野哲也准教授の担当科目に『サステナビリティ入門』『地球環境と諸問題』を追加し、『環境問題とエコロジー』を削除。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、山田一裕教授の担当科目に『サステナビリティ入門』『地球環境と諸問題』を追加し、『環境問題とエコロジー』を削除。
- ・教育課程編成上の都合により、『科学思想史』の担当教員を野家伸也兼任講師から綿引周兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『産業社会と倫理』の担当教員を野家伸也兼任講師から廣瀬寛兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『現代の哲学』の担当教員を野家伸也兼任講師から菅原宏道兼任講師に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『キャリアデザインⅠ』の担当教員を丸山樹兼任講師から丸山英里奈兼任講師、石井きらら兼任講師、河野佑登兼任講師、玉村太知兼任講師に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『キャリアデザインⅡ』の担当教員を小寺良介兼任講師から丸山樹兼任講師に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『キャリアデザインⅢ』の担当教員を小寺良介兼任講師から石井きらら兼任講師、河野佑登兼任講師、玉村太知兼任講師、三原月花兼任講師、川村千紗都兼任講師、相木良介兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『韓国の文化と言葉』の担当教員を黄孝善兼任講師から宋貞熹兼任講師に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、高橋秀太郎兼任教授の担当科目を『スタディスキルⅠ』『スタディスキルⅡ』から『スタディスキル』に変更。
- ・教養教育科目のカリキュラム改定により、大木葉子兼任准教授の担当科目を『現代メディア論』から『メディア文化史』に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『資格英語Ⅰ』の担当教員を高橋哲徳兼任教授から鈴木淳兼准教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英語ⅡA』の担当教員を徳永慎也兼任講師から星かおり兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英会話Ⅲ』の担当教員をSimon Daniel Cooke兼任准教授からDiego Dardon兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、『英会話Ⅳ』の担当教員をSimon Daniel Cooke兼任准教授からDarren Kinsman兼任講師に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『健康・運動科学実習Ⅰ』の担当教員の一部を池田晃一兼任講師から伊藤常久兼任講師に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『健康・運動科学実習Ⅱ』の担当教員に黒澤尚兼任講師を追加。
- ・授業運営の変更等の都合により、松原悟兼任講師の担当科目を『健康・運動科学実習Ⅱ』から『健康・運動科学実習Ⅰ』に変更。
- ・授業運営の変更等の都合により、『健康・運動科学実習Ⅱ』の担当教員に金野麻衣兼任講師を追加。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	3	0	1	9	0	6	2	0	1	9	0
(5)	(3)	(0)	(1)	(9)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	2	0	1	9	0	6	2	0	1	9	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	・東北工業大学の既設 学科等（工学部都市マ ネジメント学科）の入 学定員超過の改善に努 めること。 【A C】 指摘事項 (改善)	・令和3年度入試にあたっては、こ れまでの入試結果等を踏まえ、入 学定員並びに収容定員の適正な確 保を一層徹底することを目指して 行った。その結果、工学部都市マ ネジメント学科の令和3年度の入学 定員超過率は0.92倍、平均入学定 員超過率は1.21倍となり、指摘の 状態は改善した。	・引き続き定員管理の厳格化に努 めることとする。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 環境応用化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【卒業要件単位数】</p> <p>教養教育科目必修6単位を含む24単位以上、 専門教育科目必修79単位を含む100単位以上、 合計124単位以上修得のこと</p> <p>(ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を 必ず修得すること)</p> <p>※1の科目については2. 授業科目の概要を参照</p>	<p>教養教育科目のカリキュラム改定により、令和3年度 入学生より、下記のとおり卒業要件単位を改定した。</p> <p>【卒業要件単位数】</p> <p>教養教育科目必修8単位を含む24単位以上、 専門教育科目必修79単位を含む100単位以上、 合計124単位以上修得のこと</p> <p>(ただし、※1の科目の中から合計12単位以上を 必ず修得すること)</p> <p>※1の科目については2. 授業科目の概要を参照</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

これまで、全学的な組織として「東北工業大学FD委員会」を、また、FD委員会の下に「FD企画部会」を設置し、教員の資質の維持向上のための議論やFD研修会の開催等を行ってきたが、令和4年度より、内部質保証推進体制の強化を図るため、FD委員会を全学の「内部質保証推進委員会」に併合するとともに、従来あったFD企画部会と、IR推進部会を統合した「FD・IR企画部会」を同委員会の下に新たに設置し、FDの企画・運営を行っている。

(「東北工業大学内部質保証推進委員会規程」および「東北工業大学FD・IR企画部会規程」を添付する。)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和4年度は、内部質保証推進委員会を10回、FD・IR企画部会を13回開催しており、年間計画の策定や、FSD研修会の企画・立案、IRや可視化方針などを議論・検討してきた。なお、内部質保証推進委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長のほか、主要な各種委員会の委員長、関係事務部局の課長などで構成されており、FD・IR企画部会は副学長(1名)、大学企画室長、教務学生課長、学長が指名する教職員若干名でもって構成されている。令和4年度の会議においては、それぞれほぼ全ての委員が出席した。

c 委員会の審議事項等

令和4年度より運用している「FD・IR企画部会」の任務については、下記のとおり規定している。

- (1) FDに関する企画の立案及び推進施策の実施
- (2) IRに関する企画の立案及び推進施策の実施並びに教育成果の分析
- (3) 内部質保証推進委員会からの諮問事項の検討

② 実施状況

a 実施内容

令和4年度は、下記のとおり計8回のFD(FSD)研修会を実施した。

- 1) 新任教員研修会 (講師: 学長 他)
- 2) 授業改善のためのヒント～特色ある授業の事例紹介～ (講師: 本学教員・非常勤講師)
- 3) 産学連携に係るリスクマネジメント研修 (講師: 研究支援センター事務長)
- 4) 在学生の学修状況と学修成果に関する分析結果について (講師: (株)リアセック担当者 他)
- 5) 教育の質保証の動向と取組事例について (講師: 外部講師・本学教員)
- 6) 障がい学生支援に関する研修会 (講師: 日本学生支援機構 他)
- 7) 新教務システム活用研修会 (講師: 学長・教務委員長・教務学生課長)
- 8) 新アセスメントポリシーに基づく教育課程レベルのアセスメントについて (講師: 副学長 他)

また、これらの研修会の他に、授業改善を目的とした学生との意見交換会(懇談会)、さらには教員相互の授業参観(オンライン授業の学内共有等含む)も実施した。

b 実施方法

上記 a に示したFD(FSD)研修会については、それぞれ議題に即して講師による説明(プレゼンテーション)や事例紹介があり、その後、意見交換や質疑応答の時間を設ける形で行った。中には、オンデマンド形式で録画した研修内容を視聴することとした回もあったが、全ての研修会は、今後の教育効果向上に資する内容とすることが出来た。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- 1) 新任教員研修会 (講師: 学長 他)
 - ・日時等: 令和4年4月1日(金) 14:00～@八木山キャンパス1号館133教室
 - ・教員の参加状況: 対象者(新規採用者)7名全員参加
- 2) 授業改善のためのヒント～特色ある授業の事例紹介～ (講師: 本学教員・非常勤講師)
 - ・日時等: 令和4年8月31日(水) 15:00～@八木山キャンパス1号館133教室&オンライン併用
 - ・教員の参加状況: 後日録画配信も行ったため、ほぼ全ての教員が受講した。
- 3) 産学連携に係るリスクマネジメント研修 (講師: 研究支援センター事務長)
 - ・日時等: 令和4年9月9日(金)～9月30日(金) @オンデマンドによる配信視聴型
 - ・教員の参加状況: 配信視聴型のため、ほぼ全ての教員が期間内に受講した。
- 4) 在学生の学修状況と学修成果に関する分析結果について (講師: (株)リアセック担当者 他)
 - ・日時等: 令和4年9月16日(金) 13:30～@八木山キャンパス1号館133教室&オンライン併用
 - ・教員の参加状況: 後日録画配信も行ったため、ほぼ全ての教員が受講した。
- 5) 教育の質保証の動向と取組事例について (講師: 外部講師・本学教員)
 - ・日時等: 令和4年11月11日(金) 15:00～@八木山キャンパス1号館133教室&オンライン併用
 - ・教員の参加状況: 後日録画配信も行ったため、ほぼ全ての教員が受講した。
- 6) 障がい学生支援に関する研修会 (講師: 日本学生支援機構 他)
 - ・日時等: 令和4年12月23日(金)～令和5年1月31日(火) @オンデマンドによる配信視聴型
 - ・教員の参加状況: 配信視聴型のため、ほぼ全ての教員が期間内に受講した。
- 7) 新教務システム活用研修会 (講師: 学長・教務委員長・教務学生課長)
 - ・日時等: 令和5年2月7日(火)～令和5年3月31日(金) @オンデマンドによる配信視聴型
 - ・教員の参加状況: 配信視聴型のため、ほぼ全ての教員が期間内に受講した。
- 8) 新アセスメントポリシーに基づく教育課程レベルのアセスメントについて (講師: 副学長 他)
 - ・日時等: 令和5年3月24日(金) 15:00～@八木山キャンパス1号館133教室&オンライン併用
 - ・教員の参加状況: 後日録画配信も行ったため、ほぼ全ての教員が受講した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和4年度は、対面授業を重視しつつも、高い教育効果が期待できる授業科目については引き続きオンラインを活用する方針で授業運営を行った。また、自動録画配信システムを導入し、対面授業も録画して復習等に活用できるような体制を整えるなど、コロナ禍を契機に、新たな学びの形を積極的に展開してきた。その中であって、例えば上記の2)や5)などの取組は、グッドプラクティスの共有や教員相互の意見交換を通して、今後の授業改善・質向上に一層資することが出来た。

また、昨年度に引き続き、学生との意見交換会や教員相互の授業参観も実施しており、各教員はこれらの活動を通して、日々不断に授業改善の取組を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 : 有
- ・実施の時期 : 前期・後期の各期間中（年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果については、教員は教務システムやTableauによりその結果を確認することができ、今後の授業運営の参考とし改善を図ることで、学生へも還元している。また、本学公式Webサイトにおいてもその集計結果を公表している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

東北工業大学工学部環境応用化学科は、「化学を基盤分野としながらも、化学反応プロセスや装置設計に関する工学の基礎、さらにその応用として環境・エネルギー問題の評価や解決のための技術を体系的に教育する」ことを目的に、前身の工学部環境エネルギー学科を改組する形で設置された。

令和5年度入試では、志願者294名を集めたものの、結果として入学者は49名（入学定員充足率75%）と、入学定員を満たすことは出来なかった。本年は年内入試（A0入試・指定校推薦入試）の志願者数が例年と比べて多かったが、年明けの入試での志願者数が特に大きく減少した。これは、歩留り率が工学部の他学科と比して低かったことに加え全国的に化学系学科の人気の低迷したことが影響したと見ており、今後は、競合他大学の中で、本学科を選んでもらえるような魅力発信により一層努めていく必要がある。

令和5年度は、若干の遠隔授業以外は全て対面での授業実施となり、完成年度を迎え全ての科目が順調にスタートした。当初の目的に沿い化学を基盤分野とした教育が進み、今後は人材を輩出していくことになる。今後も設置の趣旨・目的の達成及び設置計画の確実な履行のため、教職員一丸となって教育・研究水準の維持・向上に努めていくこととする。

② 自己点検・評価報告書

本学の自己点検・評価は、「東北工業大学の大学評価に関する規程」に基づき、これまでは3年周期で行ってきたが、加速する環境の変化に対応するため、令和元年度以降毎年実施しており、大学運営改善の迅速化を図っている。令和5年度における自己点検・評価（令和4年度分）は、下記のとおり実施する予定である。

なお、工学部に関しては、現在のところ当該組織個別の自己点検・評価を行う予定はないが、大学全体の点検・評価の中に、その内容を盛り込むこととする。

a 公表（予定）時期

- ・令和5年11月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年11月頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、令和3年3月、同機構が定める大学評価基準に適合していると認定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

東北工業大学内部質保証推進委員会規程

(会議の設置)

第1条 東北工業大学（以下「本学」という。）内部質保証方針に基づき、学長の下に内部質保証推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 主として教育に関する全学的質保証システムの構築に関する事項
- (2) 本学における以下のポリシーに関する事項
 - ア 学位授与方針 : Graduation Policy (Diploma Policy)
 - イ 学生指導方針 : Guidance Policy
 - ウ 教育課程編成方針 : Education Policy (Curriculum Policy)
 - エ 入学者受入方針 : Admission Policy
- (3) 学修成果及び教育成果の可視化の方針並びにアセスメント・ポリシーに関する事項
- (4) 自己点検・評価等の結果示された課題及び改善向上方策に係る、全学的方針及び具体的な改善計画に関する事項
- (5) FDに関する事項
- (6) IRに関する事項
- (7) 前各号を踏まえた教学部門の中期目標、中期計画及び事業計画に関する事項
- (8) その他本学における教育の質保証、教育改革の推進及び大学全体の質の向上に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 学部長
 - (4) 研究科長
 - (5) 総合教育センター長
 - (6) 入試委員長
 - (7) 教務委員長
 - (8) 学生委員長
 - (9) 就職委員長
 - (10) 法人本部事務局長
 - (11) 大学事務局長
 - (12) 大学事務局次長
 - (13) 大学企画室長
 - (14) 教務学生課長
 - (15) 入試広報課長
 - (16) キャリアサポート課長
 - (17) 長町校舎事務長
 - (18) その他委員長が必要と認めた者
- 2 前項第18号に定める委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- 3 第1項第18号に定める委員の内、年度の途中から委員となった者の任期は、当該年度末までとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長があたる。

- 2 委員長は、必要に応じて委員会を招集し、その議長を務める。
- 3 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(専門部会)

第5条 委員長が必要と認めたときは、委員会の下に専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会の委員は、委員長が指名する。
- 3 専門部会に関する事項は、必要に応じて別に定める。

(事務局)

第6条 この規程に関する事務は、大学企画室が行う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、代議員幹事会の議を経て常勤理事会がこれを決定する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から改正施行する。
- 2 この規程の施行により、「東北工業大学FD委員会規程」並びに「FD企画部会規程」は廃止する。

東北工業大学FD・IR企画部会規程

(趣旨・目的)

第1条 東北工業大学（以下「本学」という。）内部質保証推進委員会（以下「委員会」という。）は、組織的なFD及びIR活動の展開のため、委員会規程第5条第1項に基づき、委員会の下にFD・IR企画部会（以下「企画部会」という。）を設置する。

2 この規程は、委員会規程第5条第3項に基づき、企画部会の組織及び運営について定める。

(任務)

第2条 企画部会は、次に掲げる事項を任務として行う。

- (1) FDに関する企画の立案及び推進施策の実施
- (2) IRに関する企画の立案及び推進施策の実施並びに教育成果の分析
- (3) 委員会からの諮問事項の検討

(組織)

第3条 企画部会の委員は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副学長 1名
- (2) 学長が指名する本学教職員 若干名
- (3) 大学企画室長
- (4) 教務学生課長

3 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

4 年度の途中で委員に選出された者の任期は、当該年度末までとする。

(委員長)

第4条 企画部会に委員長を置き、副学長があたる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長を務める。

3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務)

第5条 この規程に関する事務は、大学企画室及び教務学生課が行う。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、内部質保証推進委員会が行う。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。